

海況

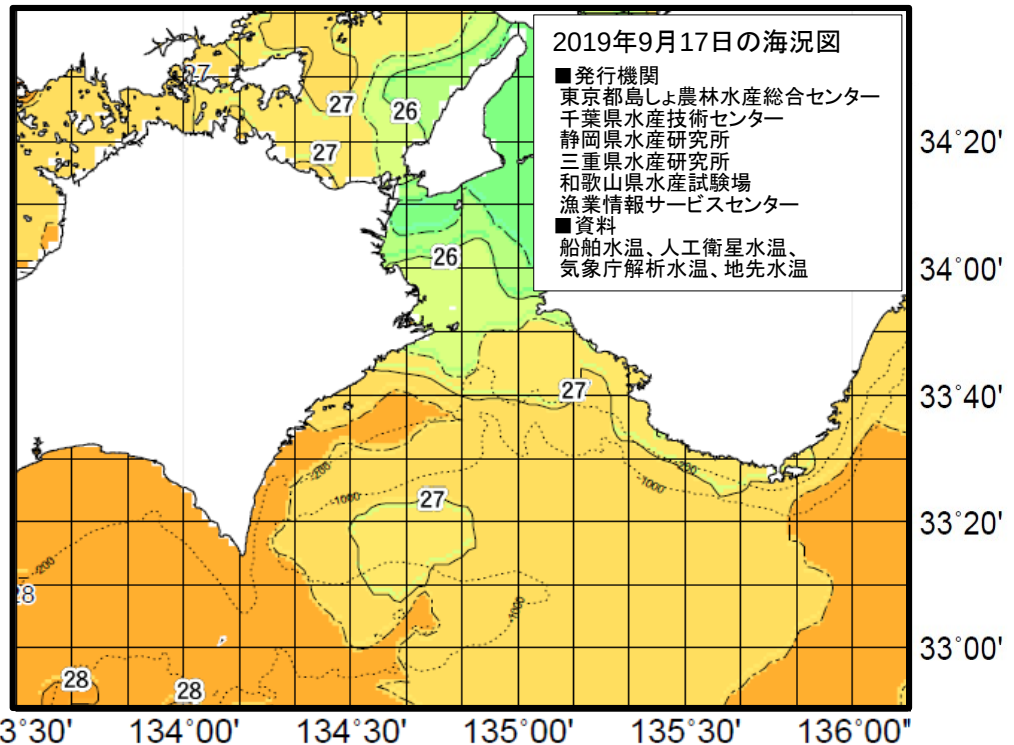
1. 周辺海域の水温等

黒潮は、九州沖から伊豆半島沖まで波うちながらほぼ東進するような流路をとっており、室戸岬沖、潮岬沖でも「著しく離岸」して流れている。

17日時点の徳島周辺の水温は、播磨灘で26℃～27℃台、紀伊水道で26℃台、海部沿岸で26℃～27℃台となっている。

黒潮の表面水温は28℃台。

室戸岬東沖に冷水渦による周辺より水温の低い海域がある模様。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：25～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

(いずれも正南方向)

直近4日分の海況図を「地先水温情報」のページに掲載しています。

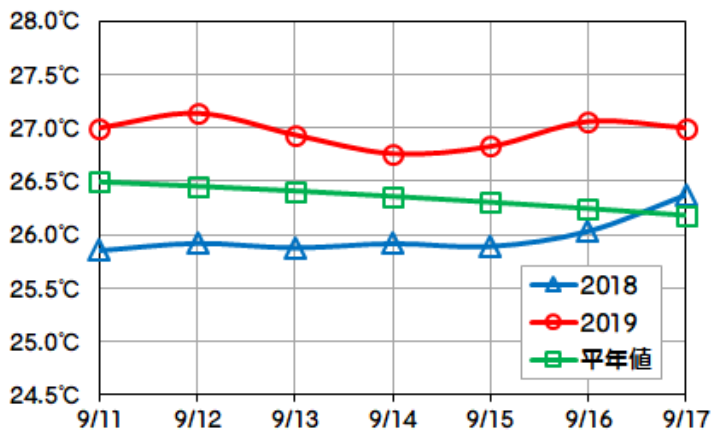
2. 地先水温(9月11日～9月17日)

例年であれば水温の下がり始める時期であるが、鳴門地区、日和佐地区ともに高い。

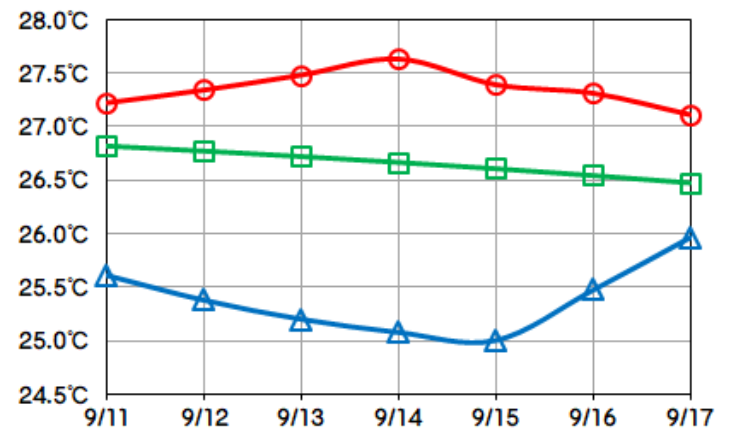
鳴門地区の水温は、14日にやや下がって「平年並み」となったが、その他の日「やや高め」の26.8℃～27.1℃で推移した。

日和佐地区の水温は、「やや高め」の27.1℃～27.6℃で推移した。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報(9月18日～9月24日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「著しく離岸」～「離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区、日和佐地区ともに「やや高め」～「平年並み」で推移する見込み。

漁況 2019年9月9日～2019年9月15日

祭や波風で出漁のない日があり全体的に水揚げが減ったが、シラスが多く水揚げされ、また延縄によるサワラの水揚げが前週に引き続き好調である。

1. 紀伊水道（標本漁協：3）

船びき網では、シラスが大きく増えて150ト水揚げされた。

延縄では、サワラが1～2kg級主体に10.6ト、タチウオが1.8ト、ハモが大きく減って0.4ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが増えて特大主体に2.2ト、ブリが大きく減ってつばす級主体に0.4ト、カンパチが0.2ト、マルアジが小主体に0.1ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが2.6ト、えそ類が増えて0.2ト、コウイカが大きく増えて小小主体に0.1ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

釣りでは、タチウオが0.6ト、カンパチが増えて0.1ト水揚げされた。

延縄では、アカムツが大きく減って0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲が0.1ト以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	75	シラス	150,000	2,000		↗↗
	延縄	69	サワラ	10,571	153	1～2kg級主体	→
		63	タチウオ	1,755	28		→
		5	ハモ	399	80		↘↘
	小型定置網	19	マアジ	2,186	115	特大主体	↗
		14	ブリ	404	29	つばす級主体	↘↘
		14	カンパチ	198	14		→
		13	マルアジ	102	8	小主体	→
	底びき網	22	ハモ	2,618	119		→
		16	えそ類	236	15		↗
16		コウイカ	117	7	小小主体	↗↗	
海部沿岸							
	釣り	17	タチウオ	564	33		→
		21	カンパチ	100	5		↗
	延縄	15	アカムツ	150	10		↘↘

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘